第20号
発行日　平成２６年４月吉日(2014)
発行責任者　新潟産業大学校友会　小栗俊郎
編集　新潟産業大学校友会事務局
新潟県柏崎市軽井川4730番地
TEL0257-24-8444（直通）
FAX0257-24-8444

新潟産業大学校友会
講演会開催のご案内

校友会では大学と連携し、卒業生と市民の皆様のためのリフレッシュ講座、講演会を毎年開催していますが、今年度も地元柏崎で下記のとおり開催致しますので、是非、同窓会員の方は市民のみなさんをお誘いの上、大勢参加して頂きたくご案内申し上げます。

日時　平成26年**6月1日**（日）
14：00～15：00（13：30開場）入場無料

会場　**柏崎市産業文化会館**　文化ホール
柏崎市駅前2－2－45（TEL：0257－24－7633）

演題　**「わが体験と今の日本に思うこと」**
高校在学中、二年生の夏に突然襲った厳しい環境。その現実を乗り越えながら、新潟短期大学夜間教室に学び、その後、新潟産業大学に編入学、卒業し現在のマルソー株式会社に育てた体験と、事業経営も社会活動もすべてが人であり、人をつくり、人を育てることの大切さなど。体験を通して自分の視線から見た、人間の在り方と現代社会の問題点や、その解決への方向性について考えてみたい。

講師　**渡邊喜彦氏**（マルソー株式会社代表取締役会長）

講師紹介
- 新潟産業大学経済学部卒業（第19回）
- 新潟県立三条高等学校同窓会長
- 三条凧協会会長
- 三条市国際交流協会副会長
- 高野山大学文学研究科修士課程　密教学専攻（通信課程）在学中
- 元（社）倫理研究法人　法人スーパーバイザー

プロフィール

昭和19年10月18日　新潟県加茂市に生まれる
昭和24年5月14日　家庭の事情により、加茂市より三条市に転居
父、現在のマルソー株式会社の前身丸惣運送株式会社を創業
昭和38年3月　新潟県立三条高等学校卒業
昭和39年3月　新潟県立新潟職業訓練所　自動車整備課卒業
昭和41年3月　新潟短期大学経済学部卒業
昭和41年3月　丸惣運送株式会社入社
昭和44年6月　常務取締役に就任
昭和47年6月　代表取締役専務に就任
昭和59年11月　代表取締役社長に就任
平成11年　55歳で、代表取締役会長に就任
平成22年3月　新潟産業大学経済学部卒業
平成23年4月　高野山大学大学院修士課程入学現在に至る

新潟産業大学の現状と将来

新潟産業大学学長
北　原　保　雄

校友会の皆様、日ごろはいろいろとご支援いただいており、心から感謝いたします。学長に就任してほぼ1年、何とかして大学の経営を立て直したいと努力してきましたが、なかなか容易ではありません。大学は、いい学生をたくさん受け入れ、いい教育をして、いい就職をしてもらうところです。つまり、入り口、教育、出口について、改善、向上させることが重要です。

出口の就職は、就職環境の好転によるところもありましょうが、お陰さまで昨年に比べて大幅に向上、昨年12月末現在で内定率94％で、昨年同期より約26％アップです。以前から本学は就職率の高いことを誇りとしていますが、私は、大企業や都会の企業よりも地元の企業に就職することを期待しており、今年もそれが好調であることを嬉しく思っています。

大学における教育の内容については、学生の意見を聞いてみると、満足している者が多く、特に社会人学生の中には、授業が楽しい、役に立つ、という意見、感想が多くて喜んでいます。しかし、地域が本学に期待しているもの、地域の若者が本学に求めているものを、根本的に見直し、地域おこしに必要とされ貢献する大学を設計しなければならないと考えています。

最も頭が痛いのは、入り口、入学生の減少です。いい教育をしようとしてもそれを受け止めてくれる学生がいなければ、効果は発揮できません。それ以前に、財政難で教育ができなくなります。大学が存続できなくなります。

私は地域の若者にもっと本学に入学してもらい、地域に残って地域を支えてくれる人材を育成したいと思っています。若者流出をこのままにしておくと、やがて地域は壊滅します。

今、地方の私立大学は、存亡の危機に立っています。校友会の皆様には、大学を存続させ発展させるため、これまで以上のご支援をお願いいたします。

以　上

新潟産業大学基金のお願い

新潟産業大学では、教育研究活動全般の充実・発展を図るため、広くご寄付をお願いしております。

寄付金は、地域高等教育の府として社会的責任を担う本学にとって、学費や補助金に次ぐ、第三の収入といえるものです。いただきましたご厚志は、「地域社会や企業を主体的に支える人材の育成」という本学の教育理念の達成のために活用させていただきます。

何卒、皆様の格別のご支援をお願い申し上げます。

募金要項

■募金の金額　一口　5,000円(複数口をいただければ幸いです。)

■募金の払込方法
同封の「青色の振込用紙」にご記入のうえ郵便局からお振込下さい。

■寄付金控除について
所得税の寄付金控除の措置を受けることができます。

■寄付者名簿の公表について
ホームページ、学報等で寄付者の御芳名を公表することに同意される方は、振込用紙通信欄にその旨チェックをお願い致します。

※ご不明の点は、新潟産業大学総務課まで。
総務課 TEL 0257-24-6655

東京オリンピックを見据えた水球のまちづくり

新潟産業大学経済学部助手
ブルボンウォーターポロクラブKZ監督
青柳勧

水球のまちづくりを始めてもうすぐ4年が経ちます。思えば、あっという間の4年間でしたが、その間に日本一になったり、水球日本選手権を柏崎で開催できたりと、多くの関係者、市民の方々に支えられ、今では全国にも知られる水球のまちとして第一歩を踏み出すことができました。そして、当時想像もしていなかった「2020年東京オリンピック」が決まり、今まで以上に柏崎からオリンピック選手が輩出することに期待が高まってきています。

その中、2014年度カーリングのチーム青森が活動休止というニュースが先日流れました。バンクーバーオリンピック後、カーリングブームが全国に広がり、各地にカーリングができる良い練習場所が整いました。チーム青森では当時の練習環境では選手が集まらなくなり、選手流出から活動ができなくなったということが活動休止の大きな理由でした。私はカーリングのまちづくりを例にとり、水球のまちづくりを推進してきただけに、私たちも他人事ではないと、このニュースに衝撃を感じました。

東京オリンピック開催を機に、少しでも東京オリンピックの経済効果を他の地方にも波及させようと、地方自治体が競うように合宿誘致に力を入れ始めています。そしてまた、東京オリンピックに向けて、オリンピック選手を地元から輩出したい思いも、全国どの地域においても同じことです。柏崎には選手が安心して一年中練習ができる環境がまだないため、他の地域が水球に力を入れ、環境整備を始めると柏崎の衰退は逃れません。開催国の出場枠がある東京オリンピックを追い風にするか、それが仇となり衰退するか、これからのまちの取り組みが明暗を分けるように思います。

さらに、まちの特色を活かし、他の地域にないようなまちづくりをするためにも、今後、環境整備に最も力を入れ、柏崎から多数のオリンピック選手が輩出できるようにしていきたいと思います。

経済経営学科

Economics and Management

阿部ゼミナール（3年）

渡邉ゼミナール（3年）

平成25年度
専門ゼミナール miniアルバム

川本ゼミナール（3年）

星野ゼミナール（4年）

高橋ゼミナール（4年）

八木ゼミナール（3年）

文化経済学科

Cultural Economics

梅澤ゼミナール（4年）

梅比良ゼミナール（3年）

3、4 年次必修の専門ゼミナールは、少人数で行われる演習形式の授業です。これまで得た知識を基盤に、より専門的な討論や研究発表等を目指します。また、大学の外に出かけて柏崎の人々や産業、文化に実際に触れ、学んだことを地域に活かすことも重視しています。

平成 25 年度に開講されたゼミナールの中から、学生たちが活きいきと学ぶ様子を、写真で一部ご紹介します。

詹ゼミナール（4年）

黒川ゼミナール（4年）

金ゼミナール（4年）

小林ゼミナール（4年）

撮影：権田 恭子 講師

大学や地域の魅力を知り、情報発信していこう

権田ゼミナール活動報告

新潟産業大学経済学部　講師　権田恭子

平成25年4月に産大の専任教員として赴任しました。柏崎市西山町の出身で主に教職科目を担当していますが、今回は1年次必修の基礎ゼミナールでの活動をご紹介します。

基礎ゼミナールは「大学での学びを知る」、「読み書きの基本能力を身につける」、「コミュニケーション能力を身につける」ことを目指した少人数の学びの場です。また、私は長年イラストレーターとしてテレビなど各種メディアの仕事も手掛けており、そのノウハウを活かした「身近なメディアの制作による情報発信」という活動を行いたいと考えました。そこで今回、学内の教員、職員、学生へのインタビュー取材を行い、小冊子にまとめるという課題に取り組みました。ゼミ生たちはこの課題を通じて先述のような力を確実に伸長させただけでなく、産大やそこで生活する人々のもつ魅力を再発見することができました。

この春から柏崎市の商店街活性化事業である「まちかど研究室」の担当を引き継ぐことになりました。遠慮深く控えめな柏崎気質は、しばしば自己PR力が弱いとも指摘されるところですが、基礎ゼミでの実践を発展させて、3年目を迎える「まち研」が、市民や大学生の活動や声、柏崎の魅力を積極的に伝える情報発信の場としての役割も担っていければと考えています。

プロと同じソフトでイラスト制作に挑戦

グループでアイデアを出し合うワーク

インタビュー音声を聴きながら原稿を執筆

産大の魅力が詰まったインタビュー集が完成！

吉本興業の公式ケータイサイトやＴＢＳテレビ「アッコにおまかせ！」など、さまざまなメディアでイラストレーターとして現在も活動しています。

新潟産業大学の就職状況（就職課資料より）

2013年度 就職行事 拝見

●経営学検定講座（平成25年６月）

●資格取得等奨励金授与式（平成26年１月）

●就職活動集中対策講座（平成25年12月）

●簿記講座（平成25年５月）

●マナー・面接対策講座（平成25年12月）

●メークアップ講座（平成25年11月）

●学内合同企業説明会（平成26年２月）

就職内定状況

1月末日現在の内定状況は下表のとおりで、全体の内定率95.2%です。

経　済　学　部				
		男子	女子	合計
今年度	内定率（%）	96.8%	90.0%	95.2%
	内定者数	61	18	79
	上場企業内定率（%）	1.8%	0.0%	1.8%
	上場企業内定者数	1	0	1
	就職希望率（%）	94.0%	100.0%	95.4%
	就職希望者数	63	20	83
	卒業予定者	67	20	87

注１：外国人留学生を除く
注２：内定率（%）＝内定者数÷就職希望者数
注３：就職希望率（%）＝就職希望者数÷卒業予定者数
注４：上場企業内定率（%）＝上場企業内定者数÷{全内定者数－（公務員合格者数＋個人経営家業内定者数）}

ライフセービングが私の人生の基礎

失敗の中から乗越えてきたチームワーク

新潟産業大学4年　大滝　雄一郎

私がライフセービング部に入ろうと思ったきっかけは、私の人生の夢が人命救助に携わる仕事だったからです。これは中学生の頃から抱いていた夢であり、その夢に一歩でも近づけるようにと入部することを決めました。

入部当初は右も左もわからず日々、泳ぎの練習、救助技術の練習、ライフセービングについての知識の勉強など毎日授業以外でもやることがあり、大変でしたが今思うとあれが逆に充実していたのかなと思います。その中でやはり練習は人の命を預かっているだけあり、生半可なものではありませんでした。走って泳いだ後にすぐ心肺蘇生を行ったり、くじけそうになったことも何度もありました。しかし、そんな時は周りの仲間と支えあい仲間全員で乗り越えてきました。この経験が今の精神力、そして仲間とのチームワークに繋がっています。この四年間監視活動をしてきて本当にさまざまな出来事がありました。失敗もたくさんしました。しかし、その失敗がこの私を成長させてくれたと感じております。

今私は、ライフセーバーの指導員の資格を取得中であります。今後は今まで教わってきたことを新たなメンバーに教える指導者としてライフセービングの普及、発展に努めていけたらと考えています。

これから先、たくさんの苦難や困難が待ち構えていると思いますが、その先には常に要救助者がいることを忘れず、絶対に諦めることなく、日々精進していきたいと思います。四年間ありがとうございました。

クラブ&サークル紹介

ダンス同好会、これまでとこれから

新潟産業大学　経済学部　文化経済学科3年　山崎紗穂

近年、日本では趣味の分野や教育分野などでダンスがとても注目されています。私たちダンス同好会はちょうどダンスが注目され始めた、２０１１年に設立したとても新しい同好会です。今回は、この場をお借りしてダンス同好会のこれまでとこれからについて紹介します。

まずダンス同好会のこれまでについてですが、ダンス同好会は昨年まで所属している学生が４人というとても小規模な同好会でした。設立当時のダンスの練習場所は大学の学生ラウンジでした。学生ラウンジは、学生がくつろいだり食事をとったりするためのスペースで、一面窓ガラスのとても見晴が良い場所です。しかし、日中は私たちの練習風景が他の学生に丸見えになってしまうという、とても恥ずかしい場所でもありました。学生ラウンジは、インターネットも見ることができますし、夜には壁一面のガラスが鏡のように踊っている姿を映してくれたので、恥ずかしいという点を除けばとても良い練習場所でした。恥ずかしくなりつつも練習を重ねて迎えた同好会として初めての紅葉祭では、ステージ発表で２曲を披露させていただきました。２年目は紅葉祭での発表曲数を５曲に増やし、さらにオリジナルの衣装で臨みました。

そして今年度はダンス同好会に新たに３人の学生が仲間入りしました。ダンス同好会は一気に７人の同好会になり、ダンスの幅も広がりました。少人数ではできなかった舞台構成も７人では可能になり、今までダンスのジャンルはＫ－ＰＯＰ中心だった私たちが、新たなジャンルのダンスに挑戦するきっかけにもなりました。今年度は新たな試みとして、「ダンス同好会　夏の発表会」と題し７月ごろに小さな発表会を行いました。小規模ではありましたが、たくさんの学生、先生方、職員の方々が見に来て下さりとても有意義なものになりました。また、紅葉祭ではこれまでで最多となる13曲を披露させていただきました。

次にダンス同好会のこれからについて、私の希望をお話しします。今年度、このダンス同好会を設立し、引っ張って下さった先輩たちが卒業します。せっかくここまで勢いのある同好会になったのですから、これからもこの勢いを無くすことなくどんどん新しいことにチャレンジしていきたいと今、私は思っています。先輩が卒業してからどうやって会を進めれば良いか不安でいっぱいです。しかし、皆で一丸となって精一杯活動し、ダンスを楽しんでいきたいです！

いにしえのロマンを訪ねて

● 咲花温泉と天祥閣

蓮池浩咲（短17回）

私は昭和四十七年より五泉市咲花温泉にて、「ホテル丸松」を経営致しております。ご存知と思いますが、咲花温泉は磐越高速自動車道安田インターチェンジより約十分の位置にあり、又、ＪＲ磐越西線咲花駅が目の前にあります。近くには阿賀野川ライン舟下り下船場、ドライブイン「阿賀の里」、楽市ジパングや旧安田町の「サントピアワールド」など、又、安田町は焼瓦の町であり、奄地焼などでも知られております。五泉市は日本一のニット生産地として知られておりますし、合併した旧村松町は堀家三万石の城下町としても有名であります。この堀家の資料を展示している咲花城「天祥閣」は、私共蓮池家の直営でございます。これは咲花温泉の山手の一角に建っておりますので、ご見学はホテル丸松へお申しつけくださいませ。この咲花温泉は、硫黄泉でございます。良く温まり、お肌には大変良く「美肌の湯」と呼ばれております。ホテル丸松では、頑なに源泉かけ流しを守っております。当館の裏手は、越後の二大河川の一つである阿賀野川が、滔々と流れ下っております。今、この裏手が大規模な河川工事を行っており、これが完成致しますと、咲花温泉が新たな温泉地として大きく生まれ変わります。そんな咲花温泉へ、是非おいでいただきたいと思っております。

会員のひろば

短大19期生・教職ＯＢ六人会

● 母校訪問

田辺友春（短19回）

昭和44年3月に短大を卒業し、引き続いて教員免許取得を目指し、免許取得後全県に赴任していった仲間たちも、平成21年3月までに全てが退職して、間もなく5年になります。退職間近になって、「おーい、元気かい……？」と電話を掛け合って、それぞれの活躍元気交流を始めた会が「六人会」です。

幹事はその時やりたい人がやり、計画は全て幹事まかせです。会場は月岡温泉を皮切りに、松之山温泉、六日町温泉、弥彦温泉、そして平成25年の交流会は、10月14日（日）懐かしい母校の地・柏崎で次のような内容で開催いたしました。

【主な日程及び内容】

＜1日目＞…13：00集合「宿泊会場：メトロポリタン松島」→13：30　母校訪問（校舎見学…校友会長案内）→14：30「ドナルド・キーンセンター柏崎」見学　→15：30　地震被災復興市内巡検　→17：30　ご講話（小栗校友会長）→18：00　元気交流懇親会　→20：00　爺放談

＜2日目＞…9：00　次回の計画について意見交換　→10：00　解散

また2年前の六日町温泉での会では、定年退職前に体調を崩して退職し、間もなくして亡くなった六日町の仲間の自宅を訪問し、共に教職を目指した思い出を語りながら、在り し日の仲間を偲ぶことができました。

今回の柏崎での六人会の開催につきまして、母校・新潟産業大学と小栗校友会長先生から、温かいご協力を頂き、大変充実した会にすることができました。大変ありがとうございました。仲間共々多くの元気をもらいながら、充実感いっぱいの帰路に就くことができました。次回は、体調が心配な津川の仲間を励ましたい会を、と言う自称幹事が計画してくれそうです。

運営年会費の納入御礼とお願い

校友会員の大勢の皆様から、運営年会費を納入して頂きありがとうございました。みなさんの暖かい気持ちに支えられていることに改めて感謝し、厚く御礼申し上げます。

ご承知のように、運営年会費は校友会報の発行費用や各支部の運営補助金など活動資金の支援費として使用されております。また、会報も内容を更に充実させ、皆様から愛される校友会報にしたいものと頑張っております。

諸事ご都合もおありかと思いますが、是非とも、このような趣旨をご理解頂きご協力よろしくお願い申し上げます。

支部だより

新潟支部総会開催

新潟支部長
北村　稔（短16回）

平成25年11月16日、新潟支部総会が新潟第一ホテルで開催されました。

当日は小春日和の中、27名の方が参加されました。

冒頭、平成25年6月に惜しくも病気で亡くなった前支部長の河野正人さんを偲んで黙とうがありました。

内藤支部長代行のあいさつで「県央から二人が参加していただき大変ありがたい」と若手との交流に向けての話がありました。

続いて小栗校友会長は「若い方の参加は大変うれしい。交流に弾みがつく」、さらに「若い人が活躍できる場をつくっていきたい」とあいさつされました。

早速議題に入り、経過報告、会計報告、監査報告の説明があり、それぞれ承認されました。

役員改選は支部長も決まり、新役員体制ができました。懇親会では内山柏刈支部長の力強い音頭ではじまり、和やかな雰囲気の中、若手との交流もできて、最後は一本締めで閉会となりました。

新潟県央支部総会開催

新潟県央支部長
渡辺　喜彦（短16回・大19回）

平成25年10月6日（日）、新潟県央支部の総会を開催いたしました。昨年、癌で亡くなられました前副支部長石田さん、および新潟支部長の河野さんなど、物故者の霊に対し総会の始めに黙とうを捧げた後、総会のスケジュールに従い総会を終了。今回は、大学より北原新学長に記念公演をお願い致しましたが、残念ながら公務ご多用でご出席を頂くことができませんでした。しかし、本部より内山副会長、片桐事務局長、それに新潟支部より内藤支部長代行、長岡支部より樋口支部長、上越支部より松苗支部長、そして妙高支部より畑山支部長の皆様よりご出席を賜り、盛会裏に開催することができました。当支部からは、14名の参加で、総勢20名の出席となり無事開催出来ました事に、心より御礼申し上げたいと思います。次回、また次回のご参加をお約束し無事終了できました。末筆となりましたが、願わくば50人以上の開催が出来ることを願って止みません。

柏刈支部定期総会開催

柏刈支部長
内山　和博（短17回）

平成二十五年六月八日に柏崎市産業文化会館で総会を開催した。

当支部は、例年六月に開催されており毎年実施している。

来賓として、新潟支部、佐渡支部、新潟県央支部、長岡支部、上越支部の各支部長にご案内を行った。

出席されたのは、新潟県央支部、上越支部の両事務局長の広瀬様、野本様が出席していただいた。

他には、会員、支部役員の皆様であった。議事は、平成二十四年度の活動報告、決算の報告、及び平成二十五年度の活動計画、予算案の協議で承認された。他には一部役員の異動であった。今後の課題として参加者の増員検討、次期役員の育成、大学卒者の支部、本部の定期総会への動員体制の強化があった。

他支部と情報交換を行いながら、当支部の体制強化を図っていく必要があり、役員、会員と共同体制で頑張っていきたいと思う。

上越支部総会開催

上越支部長
松苗　恒男（短13回）

二十五年七月十三日（土）、ホテルハイマートで開催。来賓は大学から広川前学長、校友会から小栗会長・内山副会長・片桐事務局長、支部から内藤新潟支部顧問・綱嶋長野並びに畑山妙高の各支部長、海南柏刈支部並に瀬戸妙高支部の各事務局長ご臨席のもと、当会員二十五名が出席。上越支部創設以来、長い間支部長をお勤め頂いた佐藤猛様が亡くなられて初めての総会。全員で黙祷。優しい笑顔で多くの人に親しまれ、又、校友会の礎を築いた故人を偲びました。続いて小栗会長は、産大世代へ移行を目指して、やるべきものは何かを力説されました。上越支部としても産大卒者の入会を勧誘し、青年部の立上げが第一の課題です。本部と一体となって推進して参ります。広川前学長の講演会は「地域と若者の動向を考える」であり、今後支部活動を進める道しるべにしたいと思います。会場には若い観光バスガイド六名が加わり、賑やかに行いました。

長野支部定期総会開催

長野支部長
綱嶋　正幸（短6回）

第8回支部定期総会を、市内「もみじ茶屋」において開催しました。

今回も来賓として、本部からは小栗会長・片桐事務局長、上越支部からは支部長代理として竹内幹事、妙高支部からは畑山支部長を迎えて開催することが出来ました。

議題は「本部役員総合模様等」、「支部活動状況報告・収支決算報告」、「今後の取り組みについて」等でした。今後の取り組みについては、引き続き近隣支部と連携し、情報交換を図っていく。大卒世代の活動参加に向けて、支援していくこととするが、本部においても在学時、卒業時においてOB会の存在意義について、更なるPR強化を図ってほしいとの要望もありました。

なお、今回の定期総会には、当支部大先輩の庄村さん（短4回）もかけつけていただき、ご発言をいただく等、有意義な定期総会であったことも併せて報告いたします。

関東支部総会開催

関東支部長
新田　貞章（短12回）

本年度の関東支部総会は、一月二十六日（日）午後より、御徒町にある新潟県人会館にて行なわれた。

北原学長をはじめ広川副学長、校友会本部からも小栗校友会長、内山副会長、片桐事務局長と多数の方々が参集下さり、無事終了することができた。

大卒一期生から、大卒二十一期生まで幅広い校友が集まった。

これからは更に広い層の校友が集まり、新潟産業大学の発展のために努力しようと誓い合った有意義な総会であった。

会場の都合で、畳の部屋に集まるのも珍しく、故郷・柏崎を想い出させる会場であり、次会には是非多くの校友の皆さんが御参集下さるようお願いするものである。

新潟産業大学に学ぶ学生達の活躍

２月１日（土)、柏崎市産業文化会館において「平成25年柏崎市体育協会優秀体育人表彰式」が行われ、本学団体２組、個人10名の学生が受賞しました。

この表彰は、柏崎市体育協会が、優秀な競技実績をあげ柏崎地域の体育・スポーツの振興に功績のあった団体や個人に対し、毎年表彰を行っているものです。

本学から優秀競技者賞に６名、競技者賞に団体２組と４名の学生が受賞し、ステージ上で賞状を授与されました。この栄誉を励みとし、今後さらなる飛躍を期待します。

表彰者の氏名と成績は以下のとおりです。

優秀競技者賞

【ライフセービング】

- 内山　絢太（経済経営学科４年）
- 三井田　誠（経済経営学科４年）

第26回全日本ライフセービングプール競技選手権大会
ラインスロー ７位

- 大野　翔平（経済経営学科４年）
- 大滝雄一郎（経済経営学科４年）
- 三井田　誠（経済経営学科４年）
- 安澤　勇次（経済経営学科2012年度卒）

第４回全日本学生ライフセービングプール競技選手権大会
４×25mマネキンリレー ５位

競 技 者 賞

【水　　球】

- 水球部男子

第22回中部学生水球選手権兼日本学生選手権大会予選 １位

【卓　　球】

- 宮澤　僚太（経済経営学科１年）

平成25年度夏季北信越学生卓球選手権大会 男子シングルス 優勝

- 卓球部男子

平成25年度夏季北信越学生卓球選手権大会 団体戦 ３位

【空 手 道】

- 田村　大地（文化経済学科１年）

第39回北信越学生空手道選手権大会 個人男子組手 優勝

- 久我　優希（文化経済学科１年）

第39回北信越学生空手道選手権大会 個人女子組手 優勝

【ソフトテニス】

- 小竹　諒（経済経営学科2年）※柏崎クラブ所属

平成25年度新潟県クラブ対抗大会一般男子の部団体 優勝

近藤康信会長のご挨拶

内山君、昨年に続き、優秀競技者賞を受賞です！

水球部男子、チーム代表の米田君が受賞。

空手道部、田村君“さらに躍進するぞ”

ライフセービング、内山君(＝右)と三井田君

ライフセービング部、努力が実りました。
大野君(＝最右)(以下順通)三井田君、大滝君、安澤君

卓球部、宮澤君（＝右）と松島部長

空手道部、久我さん“全国大会で結果を残したい”

新潟産業大学
社会人学生募集

社会に出ると様々な場面で「学びたい」、「学び直したい」と思うことがあると思います。
しかし、仕事や家事に追われ、実現することは難しいとお考えではないでしょうか。
新潟産業大学は、個々のライフスタイルに合わせ、無理なく学べる制度を設けています。
また、満 40 歳以上の方にはシニア学生学費軽減制度があり、さらに本法人同窓生には特別学費軽減制度がありますので、経済的負担を大幅に軽減しています。

新潟産業大学で経済・経営・文化を学んでみませんか

学費や登校日は？

4年間の学費で最長8年間学ぶことができますので、仕事や生活に合わせて受講できます。週1日だけの通学も可能です。

長期履修生の学費納入例
シニア学生が８年間の長期履修をした場合

年　額	225,500円
１か月あたり	18,792円

本法人同窓生は　16,084 円

※３年次編入学もあります。

何が学べるの？

経済、経営、文化、語学（英語・中国語・韓国語）、教養科目などが学べます。

社会人学生に人気のある科目は、環境経済学、越佐文化論、地域振興論、日本の伝統芸能など。また、本学には博物館学芸員課程がありますので、文化財や美術品に興味がある方、幅広い教養を身につけたい方は、博物館展示論など同課程科目も学ぶことができます。

社会人学生の声

定年退職した後、社会人学生としてもう一度学ぶことにしました。務めていた会社では営業や経理の仕事をしていましたが、改めて理論を学び、気づくことも多いです。

自分より若い先生や学生達と一緒に学ぶことで、日々刺激を受け、充実した毎日を過ごしています。

（経済経営学科２年 小林さん）

平成26年４月社会人入学生は４月11日まで受付中！

資料請求・お問い合せは入試課まで

TEL 0120-787-124　FAX 0257-21-6050

新潟産業大学

■大学院　経済学研究科　　■経済学部　経済経営学科／文化経済学科

事務局だより

今年は暖冬小雪かと思っていたところ、2月には記録的な大雪となり各地で大混乱を起こしましたが、世界的にみても大寒波や干ばつなどにより大被害が発生しています。日本のすばらしい四季もなくなっていくのでしょうか。

豊かな自然と緑に囲まれた、キャンパスの隣に「自然との共生公園」夢の森公園がオープンしてからすでに7年程になりますが、すっかり柏崎の名所として、家族やかわいい子供たちが訪れ、元気な声が聞こえてきています。里山では小さな命が育まれ、四季折々の花が咲き、心を和ませてくれています。みなさんも家族や友達と一緒に訪れられてはいかがでしょうか。

校友会も、各地で毎年支部総会が開催されていますが、出席者の大半は高齢者で大卒会員が少ないのが現状です。しかし、昨年の新潟支部総会では在学中の同じ部の、先輩、後輩のつながりで7人の方から出席を頂き、また、関東支部では大学の先生からの声かけで7人の方が出席し大変有意義で楽しい総会でした。しかし、各支部の現状から校友会本部では、今年、本部青年部の設立をめざし、大卒会員の更なる活発な活動ができる環境づくりをしていきたいと思っています。

また、昨年は産大准教授で北朝鮮による拉致被害者の蓮池薫さんによる講演会を開催し、大勢の市民のみなさん、卒業生から参加頂き盛会裏のうちに終了することができました。

今年は短大16回卒で産大に編入学され卒業された、渡邊喜彦氏の講演を予定していますので、大勢のみなさんの参加をお待ちしています。

ところで、校友会ではホームページを開設していますので、新入会員のみなさんは、自分の所属支部をご確認して頂き、所属支部の行事には是非参加して、交流の輪を広げてもらうことを願っております。

予定されている会合がありましたら本部事務局までご連絡下さい。

◇本部事務局開局日：月、火、木、金の各曜日　10時～15時まで
〒945－1393
柏崎市軽井川4730
新潟産業大学校友会事務局
TEL 0257－24－8444（直通）
FAX 0257－24－8444
E-mail：seitou_h@vis.nsu.ac.jp

平成25年度の動き

◇本部定期役員会（5月柏崎市）
決算、予算、事業報告、事業計画を審議承認

卒業生と市民のための講演会（講師：蓮池 薫氏）

◇支部長、事務局長会議（10月長岡市）

◇新年度事業計画、及び予算会議（26年3月柏崎市）

◇各支部総会の開催は次のとおり
支部総会　※柏刈（6月柏崎市）
※上越（7月上越市）
※県央（10月三条市）
※新潟（11月新潟市）
※長野（11月長野市）
※関東（1月東京都）
◇職域、同期会の開催は次のとおり
※久味山有志会（11月柏崎市）

平成26年度予定される動き

◇本部定期役員会（6月柏崎市）
◇本部青年部役員会議（7月柏崎市）
◇支部長、事務局長会議（10月長岡市）
◇支部総会の開催予定
※柏刈（6月）
※東海（7月）
※飯豊（7月）
※魚沼（9月）
※佐渡（9月）
※妙高（9月）
◇職域、同期会の開催予定
※久味山会（9月）
※専1期会（10月）

編集後記

各支部では、年々若い世代の活躍が多くなって来ています。役員への就任、総会への参加、母校の情報確認と多項目に亘っております。

今後も各支部との連携と、各世代の情報を共有していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

内山和博（短17回）